

## 検 査

### 平成27年産 小麦初検査

#### 【今年は十勝管内で初検査がスタートしました！】

秋まき小麦は、播種は適期に終了し、越冬前の生育は良好となり、融雪期は天候に恵まれ全道的に順調に進み、雪腐病の発生も少なく起生期の生育も良好でありました。

また、融雪後の4月下旬から6月中旬までは高温・多照に経過し、幼穂形成期で6日、乳熟期で5日と平年より早まりました。

その後7月の天候は周期的に降雨があったものの、高気圧に覆われる日も多く、太平洋側を中心に高温に恵まれ、順調に登熟も進んだことから粒が肥大し、8月には各地で収穫が一気に始まりました。現場からは品質、収量とも大いに期待される年との声が聞かれています。

このような状況の中、本会としては8月1日にJAめむろ（十勝管内）が全道のトップを切って小麦の検査が開始され、ほぼ同時期に留萌、空知、上川管内でも検査が始まりました。今後も引き続き各地で検査が開始され、北海道全域で農産物検査業務がスタートします。



#### <JAめむろの初検査>

刈り取り日	7月20日～7月31日
検査日	8月1日
検査場所	芽室農協検査場所（JAめむろ）
銘柄	「北海道産 きたほなみ」（秋まき小麦）
等級	1等（成分 F.N.値404）
検査数量	400トン（ばら）
検査員名	植田 伸範 氏